

羽ばたけ! TUT2021 報告書概要

4 系 (B) 4 年 氏名 高須麗奈

参加プログラム	<input type="checkbox"/> モナシュカレッジ <input type="checkbox"/> SAF 短期研修 <input type="checkbox"/> スインバン大学 <input type="checkbox"/> 湖池屋ベトナム <input type="checkbox"/> シリコンバレー <input checked="" type="checkbox"/> フリープラン型
参加プログラム名	2021 年 SDGs を英語で学ぶ、オンライン学修プログラム ～途上国のフィールドから SDGs を軸にイロイロ学ぶ!～
研修期間	2021 年 9 月 8 日 ～ 2021 年 9 月 15 日
研修先機関名・ 所在国	特定 非営利活動法人 LOOB JAPAN・日本
研修の概要 (研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。)	<p>本研修は、持続可能な開発目標 (SDGs) を軸にフィリピンの現状を知り、貧困、教育、環境、ジェンダーの分野で、フィリピン人ユースリーダーとディスカッションしたり、協働で達成する様々なワークショップをしたりして、リアルな「今」の社会課題とアプローチを学ぶものでした。</p> <p>プログラムの主な流れは、日本語でのレクチャー、英語でのレクチャー、グループディスカッション、まとめでした。</p> <p>SDGs とは何か、それを知るために、そして、英語でのディスカッションの経験値を上げることを目的に参加しました。</p> <p>研修を終えての満足度はとても高かったです。SDGs とは何かを知ることはもちろん、フィリピンの現状を知り、自分の生活を見直し、ただ知るだけでなく、なぜそれがあのか、そのために自分は何ができるのか、と考えを掘り下げていけたと思います。</p> <p>また、ディスカッションではフィリピン人ファシリテーターのサポートもあり、考えを英語で共有したり、Google jamboard を使って、グループメンバーと様々な問題やテーマに対して一緒に考えを深めたりしました。</p>
活動写真 1 枚 (修了証の写真でも可)	<p>Group 9</p> <p>ANALYSIS TREE: GARBAGE SITUATION IN THE PHILIPPINES</p> <ul style="list-style-type: none"> 4. SOLUTIONS: Reuse things & recycle things (Bring our tumblers, spoon & fork, instead of plastics); Seminars, & Activities so people could see the reality in the dumpsite. 3. BAD EFFECTS: Health Problem (People will continue to dispose of these garbage on improper places); resources run out; Pollute our environment; Plastics can hurt animals in the ocean. 1. CORE PROBLEM: Increasing usage of Plastics (People are not aware about the dumpsite). 2. ROOT CAUSES: Increasing population; Plastics are so convenient (They don't know how to segregate garbages).

羽ばたけ! TUT2021 報告書

研修内容

含める内容

① 参加の目的や動機

SDGs とは何かを知り、英語でのディスカッションの経験値を上げることを目的としました。最近、SDGs という言葉を耳にすることが多くあります。この研修の存在を知った時、SDGs という言葉を調べて初めて 17 個のゴールがあることを知りました。

また、オリンピックの時期にはニュースで、大量の弁当が廃棄されたというのがありました。応募の段階では、このニュースはまだ後の話でしたが、SDGs が印象付けられた出来事でした。

新たなことを学ぶ良い機会だと思い参加しました。

② 研修内容

研修は 6 日間行われ、各回 1 時間 30 分でした。日ごとに以下のテーマが与えられました（以下、<https://activo.jp/articles/77448> より抜粋）。

Day 1 【コロナとワタシと SDGs】SDGs の基礎講座&自己紹介ワークショップ

Day 2 【貧困&幸福】貧しいけど幸福度トップの摩訶不思議！

Day 3 【教育】途上国の学校現場に見る「教育の崖っぷち」

Day 4 【ごみ&環境】フィリピンのごみ問題を解決するたった一つの方法

Day 5 【ジェンダー】アジアで最も男女平等なフィリピン形

Day 6 【Youth】最終プレゼン！SDGs ユースアクション宣言

プログラムは、日本語でのレクチャー、英語でのレクチャー、グループディスカッション、まとめの順で進行されました。事前に英語でのレクチャーの資料が送られていたので、当日のレクチャーでつまずくことなく受講できました。

グループディスカッションでは、フィリピン人ファシリテーターの方がサポートしてくださり、テーマについての理解を深めていくことができました。

③ 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点

設定した目標の 1 つ目の英文エッセイについて、毎回あると勘違いしており、実際は最終日のエッセイだけでした。しかし、添削こそないものの、感想を英語で LINE グループに投稿する機会があったので、自分の考えをまとめて、また、他の参加者の方の感想を読むことで新たな気付きも得られました。

2 つ目はプログラムで学ぶ社会問題について考えを深めることでした。フィリピンの実態を知らなかったこともあり、新たなことを多く知ることができました。中でも衝撃的だったことは、ゴミ埋め立て地でリサイクルできるものを捨てることで生計を立てている方がいることでした。そして、その中には子供も含まれています。それが教育の問題につながり、健康面等も脅かしてい

る、とのことでした。SDGsは17のゴールが掲げられていて、それらが相互に関係しあっていることも分かりました。

そして、自分の生活態度を振り返る機会にもなりました。フィリピンは主観的な幸福度が高い国です。貧困層の方々も例外ではないそうです。この主観的な幸福度はそのランキングにおいて日本よりも高い位置にあります。日本人の参加者でフィリピンのスラム街に訪れたことのある方の話に次のようなものがありました。「彼らが貧困だから可哀想だと思いつむのは違うように感じた。日本の通勤電車で揺られ、哀愁漂わせた中年のサラリーマンの方がよっぽどだ。」これを聞いた時に、彼らが貧困に苦しんでいるのは紛れもない事実ですが、それでも笑顔を見せる姿を知り、これに共感を覚えました。LOOBの日本人スタッフの方の話にも「彼らが可哀想だから助けているというよりは、彼らにない、与えられるべきはずのものを支援している。」というようなものがありました。私は与えられるべきものを与えられて今まで生きてきたと思います。周りも同じように与えられていたから、当たり前なものだと思っていました。目に見えない物事への感謝を忘れずにいたいと思いました。

④ 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

プログラムの最終日に行った「SDGs ユースアクション宣言」で、マイボトルを使うことを宣言したので、それを実行します。今まではほぼ毎日ペットボトルを使用していたので、マイボトルに変えることでPETボトルを減らせると思います。

もうひとつの行動目標に、家族や友人との議論に上げるがありました。家族との話の中でプラスチックについて話しました。実家でもペットボトル飲料は結構消費していることが分かって、プラスチックゴミに対する意識が高まったのではないかと思います。また、英語学習アドバイザーの方との話題にすることも含めたので実践します。

⑤ その他感想など

本研修に参加することで得た学びは、私にとって大きなものでした。自分に関わっている事だろうと、そうでない事だろうと、知ろうとしなければずっと知らないままなのだと、普通のこと気づきました。

また、フィリピンのファシリテーターの方々は惹きつけられるような明るさを持っていて、英語で考えを伝える時は最後まで待っていてくれたり、言い換えをしてくれたり、何を言っても受け入れてくれるので、学びの過程を楽しむことができました。

このプログラムに参加することができて本当に良かったです。ありがとうございました。